

## 一万札になる渋沢栄一翁って、どんな人!?

現在、NHKの大河ドラマ「晴天に」彼の師匠でありあります渋沢栄一翁が、令和6年より、いよいよ一万札の顔になります。

では、なぜ、福沢諭吉から、渋沢栄一翁になったのか？

それは、明治維新の時、現在の日本資本主義の土台を創ったからです。

では、どういう土台を創ったのでしょうか？

また、いくつか、皆さんに、渋沢栄一翁の生き方から学べて、今を生きる我々に参考になることを、提供していきます。

- ① 彼の師匠であり、初代富岡製糸場所長の尾高淳忠（おだか・じゅんちゅう）は、とても、やる気を引き出す教育を行いました。途中あきらめない方法です。
- ② 渋沢栄一翁は、渋沢財閥をつくりませんでした。なぜか？ 逆に、人を富ませる方法を持っていました。三井財閥を創った三菱弥太郎と違う生き方です。
- ③ 渋沢栄一翁の人材の育て方、人材登用の妙が、あります。それが、多くの人に尊敬され、栄一翁とは、対立しない方がいいということになりました。
- ④ 渋沢栄一翁のお母さんとお父さんが、素晴らしい方でした。偉人には、賢母賢父がいました。さあ、どんな家庭教育をしたのでしょうか？
- ⑤ 出会いが、人生を決めます。渋沢栄一翁は、多く逆境・困難を、人との出会いで切り抜けてきました。人との出会いをどのようにして、切り開いたのでしょうか？

どうですか。

一万円札の顔になる渋沢栄一翁のこと、もっと知りたくなったことでしょう。